

令和元年度 国語科授業の略案 (3学年)

月日 (校時)	単元名	教材名
9月11日 (水) 2校時	詩を楽しもう	「わたしと小鳥とすずと」
本時のねらい (2/3時間) ○詩のよさを発表し合い、一人一人の感じ方に違いがある事に気づくことができる。		
評価規準 読 一人一人の感じ方に違いがあることに気づき、音読している。(発言・ノート・音読)		
学習課程	学習活動 (○発問・予想される児童の反応)	留意事項・評価
【導入】 9:23 (3分)	○前時のふり返りをペアで伝え合ひましょう。(ぶつぶつタイム) ・「山のとっぺん」は2連からできている詩でした。 ・わたしも外にでかけてみたくなる詩でした。	・ノートを見返すよう促し、前時のふり返りをしやすくする。
【展開】 課題把握 9:25 (2分) 見通し 解決活動 9:27 (15分) ・一人学び (7分) ・はん学び (8分) 集団解決 ・学び合い 9:42 (10分) まとめ 9:52 (5分)	1 課題を把握する。 「いいな」と思うところを感じとり、音読しよう。 ・シラバス：(一人学び (7分)・はん学び (8分)・学び合い (10分)・まとめ (5分)・ふり返り (5分)) ・言語わざ：「理由をつけて発言しよう。」 ・キーワード：連 (れん) 対 (つい) くり返し リズム くらべている 2 「わたしと小鳥とすずと」を音読 (範読→一斉読み) して、「いいな」と感じたことを教科書に書き込む。 ○詩を読んで、「いいな」と感じたことを教科書に書きこみましょう。 ・1連と2連でくり返し使われている言葉があります。(「わたしが」、「ても」、「のように」、「ない」など) ・四音・四音・五音の行と、七音・七音の行との組み合わせで出来ています。(→リズムカルさ) ・1連目はわたしと小鳥、2連目はわたしとすずをくらべています。 ・1、2連目は、同じように書かれていますが、3連目は違います。 3 詩の「いいな」と感じたところを出し合い、はんで話し合う。 ○「いいな」と思うところをはんで伝え合ひ、ホワイトボードに書きましょう。 ・「ちっとも」、「じべた」という言葉がおもしろいと思います。 ・それぞれができることとできないことが書かれています。 ・「みんなちがって、みんないい」という言葉がいいなと思います。 ・わたしやすずや小鳥のそれぞれのできることと、できないことがくらべて書かれているところがおもしろいなあと感じました。 4 出た考え (各班のホワイトボード) を見て、お互いの「いいな」と思ったことについて伝え合う。 ○友だちの「いいな」と思うところを見て、感じたことや考えたことについて話し合ひましょう。 ・おなじところは_____です。 ・ちがうところは_____です。 ・みんな「いいな」と思うところがちがうなあと感じました。 この詩の「いいな」と思ったところは_____です。 理由は_____だからです。	①【一人学び】 「いいな」と思ったところを、教科書に赤えんぴつで書きこむ。 ②【はん学び】 「いいな」と思うところを、はんで伝え合う。 ③【全体学習】 友達の「いいな」と思ったところを見て、伝え合う。
		「いいな」と思うところ ○おもしろいなあ ○すきだなあ ○リズムがいいなあ ○言葉のひびきがいいなあ ○わたしも同じ気持ちいいなあ ○わたしも同じ気持ちいいなあ
		・友だちと同じところやちがうところをほめ合いながら交流する。
【終末】 仕上げ読み 9:57 (3分) ふり返り 10:00 (5分)	5 学習したことを、味わいながら音読をする。 ○いいなと思ったところを感じとりながらもう一度読みましょう。(一斉読み) 6 学習したことをふり返る。 ・わたしは、「みんなちがって、みんないい」のところがいいなと思いました。 ・それぞれ「いいな」と思うところがちがうということが分かりました。	読 詩のそれぞれの連の構成と内容やその関係を理解し、音読している。(発言・ノート・音読)